

# 昭和63年度園芸相談集計記録

山本昌生

昭和63年度の受付件数は1,899件で、その集計結果を表1、2に示した。さらに受付方法別、作業別に図1～4のグラフにあらわした。

例年より受付件数が減少しているが、記録もれが多数あり、実際には例年並みの3,000件程度あったと考えられ、記録の徹底と方法の改善をする必要があると思われる。

受付方法では例年に比べ、手紙での相談が多かった。手紙での相談は特に植物名を教えてほしいという内容が多く、また病害虫に冒された実物を同封し、予防法についての問い合わせも多

かった。電話での相談に比べ実物があるほうが適格な回答を送ることができるのが利点であり、今後も増えるのではないと思われる。

植物別では、樹木ではウメ、ツバキ、生垣などの剪定時期と施肥について、草花類では月下美人、クンシラン、シャコバサボテンの管理が多く、洋ランではシンビジウム、デンドロビウムの管理についての相談が多かった。

平成元年3月18日から3月30日まで世界蘭展記念第2回洋ラン特別展を開催し、展示期間中「洋ランクリニック」を開いたので、その集計結果を図5に示した。前回同様シンビジウム、デンドロビウムについての相談が多く、内容では花が咲かない、蕾が落ちるといものと病害虫に関するものが多かった。

表1. 月別・方法別受付件数

(単位: 件)

項目 \ 月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
電 話	79	79	215	101	108	163	147	126	60	99	72	44	1,293
来 園	33	32	76	38	34	61	49	39	19	37	35	18	471
手 紙	5	2	28	3	17	26	17	10	3	7	—	17	135
そ の 他	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0
計	117	113	319	142	159	250	213	175	82	143	107	79	1,899

表2. 月別・植物別受付件数

(単位: 件)

項目 \ 月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
庭 木	20	5	40	20	20	10	7	25	10	17	20	3	197
花木・果樹	17	34	64	25	37	79	74	27	32	59	20	27	495
草 花	30	34	64	47	32	64	69	71	15	27	22	12	487
山草・野草	3	—	22	3	10	15	7	7	—	—	3	10	80
観葉植物	10	15	50	25	15	32	12	25	12	10	7	5	218
洋 ラ ン	22	15	27	15	15	20	27	15	10	20	30	10	226
そ の 他	15	10	52	7	30	30	17	5	3	10	5	12	196
計	117	113	319	142	159	250	213	175	82	143	107	79	1,899

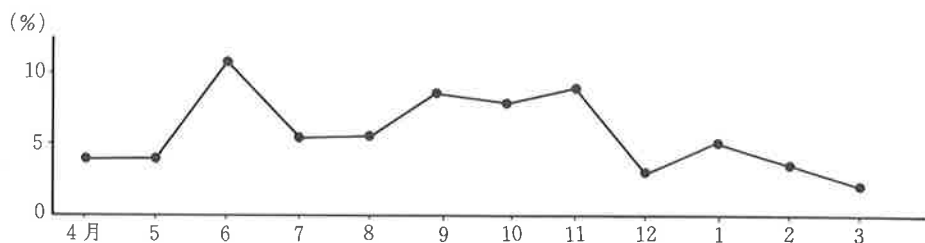


図1. 月別割合

電話 68.1%	来園 24.8%	手紙 7.1%
-------------	-------------	------------

図2. 受付方法別割合

花木・果樹 26.1%	草花 25.6%	洋ラン 11.9%	観葉植物 11.5%	庭木 10.4%	山野草 4.2%	その他 10.3%
----------------	-------------	--------------	---------------	-------------	-------------	--------------

図3. 植物別割合

年間管理全般 26.2%	病虫害防除 16.5%	植付・植替 15.1%	整姿 5.2%	剪定 5.0%	繁殖 5.0%	その他 30.1%
-----------------	----------------	----------------	------------	------------	------------	--------------

図4. 作業別割合

施肥1.9%

シンビジウム 47.4%	デンドロビウム 21.6%	ファレノ プシス 7.8%	カトレ ア 6.0%	その他の 洋ラン 7.8%	その他の 植物 8.6%
-----------------	------------------	---------------------	------------------	---------------------	--------------------

図5. 洋ランクリニック植物別割合 (総受付件数116件)

その他 0.9%

## 昭和63年度花壇管理状況

永木利夫

昭和63年度は大花壇で5回、小花壇、大温室横花壇については3回、その他の花壇、及びフラワーポットについては2～7回の植え替えを行い、32種6,328株の草花を植付けた。

### 概要及び所感

- (1) 模様は、大花壇については、図1、2のように像を中心として線対象としたL字形とし、L形の曲がり部分を曲線で処理した。小花壇、大温室横花壇については三角形を中心としてその2辺に平行の縞状の模様とした。
- (2) 植物については、昨年とほぼ同じ種類を用

いた。芝生北花壇で使用したジニア・リネアリスは暑さに強く、8月中旬に切り戻せば9月には再び咲き始め、次々と花をつけて降霜期まで咲き続けるので、夏季にはもっと多くの場所に使用したい種類である。3月中旬より展示室前花壇で使用したアイスランド・ポピーは、その明るいパステルカラーが暖かい春を感じさせ好評であった。しかし開花期間があまり長くなく、苗も高価なため、広い面積での使用は経費的に難しいものと思われる。

- (3) 病虫害については、昨年は土壌を入れ替えたため順調だった大花壇も今年は傷みが見られた。特にマリーゴールドは、8月下旬には株枯